

緩和ケア病棟における嚥下リハビリの現状について

1. 研究の対象

西暦 2022 年 4 月 1 日～西暦 2022 年 11 月 29 日の期間に緩和ケア病棟にて嚥下機能評価、嚥下リハビリを導入した症例

2. 研究目的・方法

(1) 目的及び意義

さまざまな癌腫でターミナル状態となると、嚥下機能も低下し経口摂取にて誤嚥性肺炎を生じるリスクが高くなる。しかし、終末期を迎えるなかで飲食に楽しみを感じる患者が多くみられるのも事実であり、安全なかたちで経口摂取を行うことが求められる。今回、携帯型喉頭ファイバーを使用することで、PS 不良な患者であってもベッドサイドで嚥下機能評価を行い、その後の嚥下リハビリにつなげることができる体制が整っている。そこで、現在の緩和ケア病棟における嚥下リハビリの現状を把握し、安全に経口摂取ができる体制の構築を目指す。

(2) 方法

対象期間に緩和ケア病棟にて嚥下機能評価、嚥下リハビリを導入した症例を後ろ向きに情報収集し、嚥下機能の状態やその後の経口摂取の状態について検討を行う。

(3) 科学的合理性の根拠

本研究の目的について検討した研究は少ないため、後向き研究で情報を収集する。

研究期間：倫理審査委員会承認日 ～ 2027 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：生年月日、病歴、嚥下機能評価の結果、経口摂取の状況、誤嚥性肺炎の状況 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

当院研究責任者：

新潟県立がんセンター新潟病院 緩和ケア内科

当院研究責任者：太田久幸

連絡先：新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3

TEL：025-266-5111（大代表）